

# 日工販ニュース

July 2019

第50回 通常総会



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

東京都港区芝 5-26-30(専売ビル 3F) 〒108-0014

TEL. 03-3454-7951

<http://www.nikkohan.or.jp>



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION



<b>第50回 通常総会</b>	2
「会長挨拶」	依田智樹 2
「議事録」	4
「記念講演：渋滞学からの働き方改革」	西成活裕 6
「懇親パーティー」	9
「新役員・委員会委員長」	14
<b>工作機械と私</b>	三菱電機クレジット(株) 鳥井 翔太 16
<b>話題の技術</b> 「OKKのIoT「NetMonitor4.0」のご紹介」	OKK(株) 高原 孝志 17
<b>リレー随筆</b> 「金属(鉄)について」	(株)松浦機械製作所 奥田 貴久 20
<b>ひとくち豆知識</b> 「メカ式プレスがサーボプレスに生まれ変わります」	アイダエンジニアリング(株) 中澤 学 21
<b>スポーツ名場面</b>	(株)旭商工社 倉田龍一郎 22
<b>議事録</b> 「理事会」「中部 正副会員懇談会」「東部」「西部 正副会員懇談会」	23
<b>初めての〇〇</b> 「初納品と感謝する気持ち」	カトー機械(株) 三輪 彰仁 32
<b>私の好きなお店</b>	日工販事務局 中島 和彦 33
<b>統計資料</b> 「FA流通動態調査」「マシニングセンタ・NC旋盤動向」	34
「工作機械主要統計」	
<b>SE教育</b> 「基礎講座実施報告」「合格者」	38
<b>私の健康法</b> 「ボディメイクとわたし」	(株)国興 牛山 咲季 40
<b>海外だより</b>	牧野机床(中国)有限公司 押切 智大 42
<b>行事予定</b>	43
<b>会員消息</b>	44

## ～ 第50回 日工販通常総会 ～ 会長挨拶



日本工作機械販売協会 会長

**依田 智樹**

(三菱商事テクノス(株) 取締役社長)

第50回通常総会におきまして、冨田会長の後任として第20代目の日工販会長を拜命致しました三菱商事テクノスの依田でございます。

皆様におかれましては、日頃より日工販に対しご支援ご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

先月元号が改まり令和という新しい時代を迎えました。日工販は昭和45年の創立以来、平成を経て令和と、第3世代に入り、来年はいよいよ創立50周年を迎えます。日本のものづくりとともに歩んできた長い歴史を有しており、今回その会長職という大役を拜命致しまして身の引き締まる思いが致します。微力ではございますが、協会の発展、ひいてはものづくりに貢献出来ます様全力を尽くす所存ですので、冨田前会長同様、引続きご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、我々を取り巻く工作機械市場は昨年受注額1兆8千億円超と史上最高を記録する程活況でしたが、秋頃から潮目が変わり、米中貿易摩擦や中国経済の減速傾向も影響して先行きの不透明感が強まっています。

一方、業界を取り巻く市場環境は大変速いスピードで変化しており、デジタル化、電動化、省人・省力化、積層造形、AI/IoTを活用したスマートマニュファクチャリング等、「ものづくり」に「ことづくり」がニーズとして付加されて来て、我々のビジネス形態もそれに応じて変えて行く必要に迫られています。

会員各社はあらゆる産業界との接点を持ち取引関係にあるという、強固な顧客基盤を持っているのが強みです。その強みを活かし、市場環境の変化を捉え、お客様のニーズを把握して的確なソリューションを提供することによって、まさに変革の先兵として業界に貢献するのが使命と考えています。

日工販としてなすべき事について、会員各社のもとより日工会はじめ他の協会の方々とも連携を密にして良く考え、新しい時代の新しい姿を目指して行きたいと思っております。

これまで会員各社の販売力強化の為の教育や製品の勉強会、工場見学等を実施し実績を積み重ねて来ましたが、加えて新しい施策も考えていきたいので、各社より積極的に提案をお願い致します。

会員数も現在81社となりましたが、何と言っても数は力ですので100社を目指し組織力を強化していきたいと思っております。広報活動にも注力し更なるステイタス向上を図ります。

日本においてはこれから今月大阪G20サミット開催、7月に参議院選、9月にラグビーワールドカップ開催、10月に消費税増税、そして来年7月に東京オリンピック開催、とビッグイベントが続きます。

先行きが読みづらい不透明な経済状況ではありますが、悲観せず、関係者一丸となって明るい将来を見据えてこの業界を盛り上げて行こうではありませんか。

最後となりますが、工作機械業界の成長と、会員各社の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

# 議事録

日 時：令和元年6月4日(火)  
13:10~13:50  
場 所：第一ホテル東京  
4階「プリマベアラ」

## 【議 事】

### 1.開会(13:10)

宇佐美専務理事が進行係となり、別紙「総会次第」に従い議事を進めた。

### 2.総会の成立

専務理事より「本日の出席社49社(57名)。うち議決権行使者は47名、有効な委任状提出28社、合計77社であり、現在の在籍正会員数は81社につきこの総会は定款の定めにより成立する。」旨報告した。

### 3.会長の挨拶

富田会長より、「会員各位のご協力をいただき只今から上程議案の審議をお願いいたします。」との開会の挨拶があった。

### 4.議案の審議

定款第14条に従い富田会長が議長に就き、第1号議案から第3号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

#### (1) 第1号議案 平成30年度事業報告並びに決算案承認の件

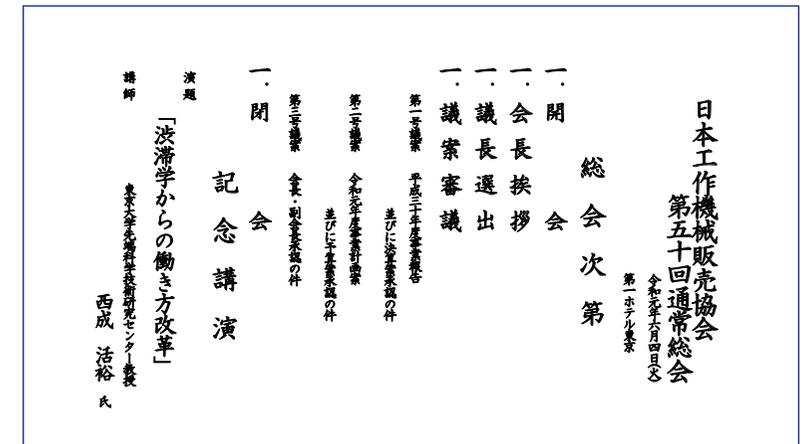
- ①議長から事業報告書「概要」を説明。
- ②専務理事から「決算報告書」を説明。
- ③議案の審議に先立ち、議長は監事に対し監査結果の報告を求め、監事を代表し三橋監事から「平成30年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑を監査した結果、適正であることを認める」旨



総会議長 富田会長



総会司会進行 宇佐美専務理事



を報告。

- ④本件について、議長が出席者に諮り全員異議なく原案通り承認。

#### (2) 第2号議案 令和元年度事業計画案並びに予算案承認の件

- ①議長から事業計画案を提示、専務理事から令和元年度の予算案につき説明。
- ②本件について、議長が出席者に諮り全員異議なく原案通り承認。

#### (3) 第3号議案 会長・副会長の件

議長から、会長に依田理事、副会長に永田理事、池浦理事、赤澤理事を充てる候補案が出され、出席者に諮ったところ全員異議なく原案通り承認。

### 5.議長挨拶

議長は「以上をもって全議案の審議が終了した」ことを告げるとともに、出席者の協力に対し謝辞を述べた。

### 6.閉会

宇佐美専務理事より、閉会を宣し通常総会を終了した。



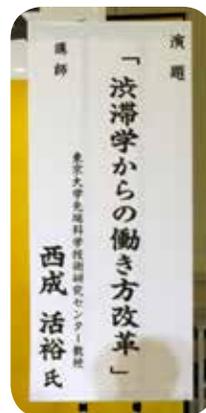
監査説明 右から三橋監事 永安監事 山本監事

記念講演

# 『渋滞学からの働き方改革』

講師：西成 活裕 氏

日工販第50回総会に引き続き、14時10分から1時間30分に  
 亘り155名の参加者を迎え記念講演が開催されました。



## 講師略歴

1967年生。1995年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。国内の大学を始め、ドイツのケルン大学理論物理学研究所で教鞭をとる。現在、東京大学先端科学技術研究センター教授。専門は数理物理学。2006年発行の「渋滞学」が講談社科学出版賞、日経BP社BizTech図書賞をそれぞれ受賞。物理や数学を現実の社会現象に応用し、科学理論と実践



記念講演 西成活裕氏

との融合に取り組んでおり、特に車、人、モノの3つの流れをいかにスムーズにするかという渋滞に関する研究をライフワークにしている。東京オリンピックの組織委員会のメンバーでもあり、「渋滞学」を応用して各会場への人の誘導方法などに関するアドバイザーを担っている。

中学課程3年分の数学を非常にわかりやすく記述した「東大の先生！文系の私に超わかりやすく数学を教えてください！」、長期的思考がいかに正しいかを多くのロジックで証明した「逆説の法則」、無駄とは何か？そのメカニズムとは？を中心テーマにした「無駄学」、誤解の原因や種類、メカニズムや対策までの研究成果を記した「誤解学」など、他著書多数。

## 【講演内容要旨】

「渋滞」というのは車だけではない。人の混雑も広い意味では渋滞である。

そもそも渋滞はなぜ起きるのか？人でも車でも業務でも全て同じ理屈で、基本的には外的要因と内的要因に必ず分かれている。昔は「ボトルネック」と言う外的要因が原因と言われていたが、実は「メタ安定」と言う内的要因もあることが分かった。

この「メタ安定」の説明の前に、まずは渋滞をきちんと定義しておく必要がある。30年も前に運輸省の高速道路通行車のデータを基に研究したところ、「渋滞」は1kmに25台くらい即ち車間が40mになってきたあたりと定義することができた。そして「メタ安定」とは、このあたりの車間になってもまだ渋滞しない状態で、車間が詰まっているのに速度はそこそこ出ているが渋滞していない状況のときに現れる。このメタ安定状態が崩壊すると、一変して渋滞となる。一見安定しているように見えるが非常に不安定な状態のことを指す言葉である。メタ安定の中で1台がブレーキを踏むと、そのブレーキが後続車に増幅して伝わり、やがて連続して渋滞していく・・・これが渋滞のしくみである。解決策の一つは車間を開けること。これが通行を円滑にする全体最適へと繋がる。

仕事における「渋滞」も同じで、2種類の製品の生産工程の事例を引き合いに、机上論と現実論でのクリティカルパスの考え方は違うということ、ものづくりにおける作業上のバラツキを考慮に入れ数学的に証明した。一見全く無駄のない工程スケジュールのどこかにブレが生じると玉突き事故を起こしやすく、ある程度「無駄」のある工程の方が、長い目で見れば事故を起こさず結果として無駄が少ないということである。

組織についても、ある期間で終わった仕事の数を仕事の「交通量」とおき、同じ期間に仕事がいくつかあるかを仕事の「密度」として考えれば、簡単に渋滞判定することが可能である。働き方改革で一番大事なのは、人間が感じている「大変さ」を表す仕事の「密度」を減らすこと。仕事の負荷は量ではなく密度なのである。

交通量と密度は組織論で言うと「スループットと負荷」であり、これが上席の立場になると、まだまだ負荷がかけられると勘違いを起こして、渋滞学でいう「メタ安定」状況を生じやすい。組織がメタ安定状態に突入すると、無理をして業務を消化するため長続きせず、何か事件が起これば組織そのものが崩壊してしまうリスクを孕んでいる。一方で、ゆとりが多すぎれば人は遊んでしまう。そのラインをどこにするかはそれぞれの会社の中で決めておく必要があるが、いずれにせよ「無駄」をしっかり定義し、科学的な「ゆとり」を持たせることが最も肝要である。

業務改善の観点では、無駄の定義ができていないとゆとりとの区別がつかず、業務改善のかなめである無駄を取ることができない。「無駄」の定義は「目的と期間と立場」という3つの基準で決まるが、何が無駄かを議論するには、「期間」の基準が絶対が必要である。時間をかけて、まず期間をきちんと定めた上でブレないようにすることが肝要である。

「目的」については、皆がばらばらの「目的」を持っていては話にならない。これも共有化が必要である。

一方、「立場」に関しては、「誰の目的？」と言い換えられるので「目的」にほぼ吸収される。よって、「目的」と「期間」の2つが最重要となる。英語でこの3つはPurpose、Period、Positionと表現するが、(頭文字を取った)「3P」をいかに組織で共有していくかがわかるといういろいろなものが見えてくる。結果、ゆとりと無駄の区別がつくようになる。なお、ここで言う「ゆとり」は「科学的ゆとり」のことである。

短期的にもものを見ないで、計算づくで敢えて短期的には損に見えるが長期的には得をするような仕事の仕方を「科学的ゆとり」と言っており、突発的なことにも対応できるし将来高い確率で利益を生んでいく、全体最適に繋がることになるというのが本日の講話内容の要点である。

企業で最も大事なことは利益ではなく永続性だと考えている。日本は昔から「永続性」には強く、200年以上事業継続している企業数は日本がトップで、世界の6割以上が日本に存在しているが、最近、短期的な考え方即ち企業会計が四半期ごとの開示を求められる等になってきてから、おかしくなってしまった。ぜひ「科学的なゆとり」を生むようにしっかり時間をかけて期間と目的の定義をしておくべきだと考える。

残業については、「特定の人が残業している」ということ。プレーヤーもマネージャーもできる年代の者が最も仕事ができるので、自ずと仕事集中してしまうものだが、これでは後輩・部下が育たない。これはプレーヤーとマネージャーが重なるところに渋滞が起きている状況と言えるが、ここはあえて後輩・部下に任せてしまうことが重要と言える。後輩・部下は、やっていくうちに育っていき、結果自分の時間も空くことになる。これをデレゲーションというが、要は任せることが肝要なのであり、任せないことによって渋滞を引き起こしてしまう結果となる。

長年に亘り研究された“渋滞”のメカニズム、また渋滞から派生する問題を多くの事例を用いてわかりやすくご説明くださいました。今回「渋滞学」には初めて接したという参加者も多くいたことと思いますが、「渋滞学」とりわけ「科学的ゆとり」の考え方は「働き方改革」への重要なヒントになる、ソリューションになりうるものだという感触をもちました。ともすると、目の前の利益を享受するために近視眼的にもものを見てしまうことがありますが、今回の講演を聞き、改めて「急いで事は損ずる」「損して得を取れ」の言葉の深い意味に触れたような気がします。西成先生、ご講演ありがとうございました。



記念講演司会進行 羽賀総務委員長



記念講演の様子

## 懇親パーティー

令和元年6月4日(火) 16:00~17:50 第一ホテル東京 5階「ラ・ローズII」

日工販第50回通常総会、記念講演終了後、来賓及び会員212名が出席し懇親パーティーが開催された。

中島専務理事の司会の下、本日の総会で会長、副会長が選任された旨の報告がされ、会長挨拶に続き、来賓を代表して経済産業省製造産業局産業機械課長補佐松本崇氏、(一社)日本工作機械工業会会長 飯村幸生氏よりご挨拶を頂戴した。

また、新入会員の(株)U-MACHINE(中部正会員)、(株)ウインテック(東部正会員)、(株)キャドマック(メーカー賛助会員)、(株)西田機械工作所(メーカー賛助会員)の4社について専務理事から紹介の後、当日懇親パーティーに参加された前3社からご挨拶をいただいた。

続いて日本工作機械輸入協会会長 中川貴夫氏よりご挨拶を賜り、同氏の乾杯のご発声で一同乾杯し懇談が繰り広げられた。

定刻になり池浦副会長より中締めが行われた。



新役員



お迎えの様子

◇来賓ご挨拶◇

経済産業省製造産業局産業機械課 課長補佐  
松本 崇 様



経産省産業機械課課長補佐 松本崇様

皆様こんにちは、初めまして。本日、業界のお歴々の方が多数いらっしゃる中で、大変恐縮ではございますが一言ご挨拶を述べさせていただきますと存じます。

まず、令和に入って初めての年次総会そして第50回ということで大変おめでとうございます。また日頃から経済産業行政のご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

平成の時代は、バブルの崩壊以降長いデフレに苦しんだ時代でした。ただ令和に入りまして、足下では経済成長も堅調に推移しているところでございます。そのような中、新たに会長に就任されました依田会長を始め、新たな体制の下、積極的に日工販様の活動が展開されることに期待しているところでございます。令和に入り経済堅調の中、日本が世界を牽引する気持ちで官民協力して進めていければと思っているところでございます。ものづくり製造業が日本の根幹・源でございますので、世界の製造業の中で日本が果たす役割も大きいと感じているところでございます。

また、先ほど会長からいろいろなキーワードをご紹介いただきましたが、製造業全体では第四次産業革命という大きなうねりが来ているところでございまして、単にモノを造る・売るということだけではなく、いかに付加価値を付けていくかということがカギと認識しているところでございます。データを活用したコネクティッドインダストリーズだとか、経産省としてもこれを進めていくというところでございまして、本当に生活がよくなっていくと実感していけるような企業・自治体・産業界などとデータを介して繋がりや協力ができるという状況を増やしていく環境づくりを進めていきたいと考えています。

工作機械業界に目を向けましても同じように、国内では少子高齢化という現実がございますが、AIやIoTなどを活用・発展し、それに伴う自動化・省力化ニーズということも出てくるかと考えています。工作機械もスマートマシンを始め、積層、造形、搬送機能を搭載した様々な機種が多く市場投入されていると聞いております。そのため、各社の工作機械に搭載された新しい機能について知識を身につけ、製造の利点をどのようにユーザーに訴求していくかという、日工販会員企業の皆様が果たす役割は非常に大きくなっているのだらうと考えているところでございます。

そうした中、日工販様におかれましては、独自にセールスエンジニアの教育制度でありますとか、工作機械の設備機能に携わる方々の職業能力に貢献されていると伺っておりまして、とりわけ基礎講座に関しては大学とも連携されていると聞いています。そういった取組みは非常に重要で、今後業界を担う若手を育てるという意味でも非常に意義ある活動であると考えているところでございます。販売面から日本の工作機械業界の発展に貢献いただいております、日工販様の活動に真に敬意を表しているところでございます。今後とも、会員企業の皆様の日ごろ培われた販売力、営業力を駆使して最新の機能が搭載された機械がより多くの製造現場へ導入されることで、我が国製造業全体の競争力強化に繋がっていくことを祈念しているところでございます。

簡単ではございますが、総会懇親会での挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

◇来賓ご挨拶◇

(一社)日本工作機械工業会 会長  
飯村 幸生 様



日工展会長 飯村幸生様

ただいまご紹介に与りました日工会の飯村でございます。まず始めに依田会長、ご就任おめでとうございます。本日は日工販殿の通常総会懇親会にご招待いただきまして誠にありがとうございます。また常日頃から我々メーカーの機械を各段のご尽力で販売をいただいております、心より感謝申し上げます。皆様、どうもありがとうございます。

4月の工作機械受注額は、皆様もご存知のとおり、前月比で16.8%程度、前年同月比で言うと33.4%程度それぞれ落ち1,068億円強ということで、1,000億円のラインは保っているのですが軟調だということが正直なところでございます。この軟調には複合的な理由があると思っており、一つには去年の受注が非常に高かったということかと思っておりますが、依田会長からもお話がありましたように、やはり米中間の貿易摩擦であるとか、EU圏に遠心力が働いているとか、ジオポリティカルなイランやイスラエルの問題であるとか、いろいろな問題が噴出して不透明感が漂っているのだと感じています。また日米の通商交渉もなかなかうまく進まないということで先行きに予断を許さない状況というのが、ある程度心理的な影響を与えているのだらうという気がいたします。かつて先人が紛争を避けるためにいろいろ構築してきたセキュリティネットワークが、ポピュリズムであったり保護主義の中でそのしくみがほころび始めてきているのだらうという感じすら覚えています。

元号が令和に変わって1か月強が経ちましたが、テレビを見ていると日本のGDPがこの30年で下がったとか、株式の時価総額がどんどん落ちていくといったネガティブな話も多い中で、特に上皇陛下が「戦争がない時代であった」とおっしゃられた、このお言葉が意味するところは非常に大きなことであると思っております。明治・大正・昭和と、戦争の中で我々時間を過ごしてきたのですが、この平成については日本にとっては戦争のない時代であったと、これを是非続けていかなければいけないのだということを強く感じております。

工作機械業界を見ますと、この平成の30年で非常に進歩したと感じています。以前は、月1,000億円、年間でも1兆円あれば「御の字」というような業界であったかと思えます。そこから、去年は1兆8千億円超えということで、非常に大きなジャンプをしたと感じています。工作機械の競争軸も、今までの高性能・高精度・高速ということから変わってきているというのは、我々メーカー側は皆承知しており、先ほどモノからコトへとおっしゃっていましたが、モノだけではなく、どうやってモノとコトを融合させてお客様に訴求していくかを念頭に、AIやIoTを使った内容はもとより、ユーザービリティであるとか、工程集約であるとか、ターンキーであるとか、軸の違うところで戦っていくという話を日工会の中でも何回も議論してきています。ここが我々日本の工業会も非常に得意なところでございます。あまり大きいことを言うつもりはありませんが、必ずこの競争軸が変わったところでいい戦いをするという決意で、この令和の時代には年間2兆円の達成ができるだらうと確信をしております。そのためにはやはり「変わる」ということが重要だと思っておりますので、日工販殿と一緒に変わっていきたいというふうに思っています。

結びになりますが、「日工販殿と日工会は車の両輪です」というようなことを事務局がよく書くことがあります。我々業界として、これから海図のない海に出航していかねばならないようなことも出てくるかと思えます。つまり、いろいろなしくみが変わって、製造拠点が変わったり調達インフラが変わったり、今非常に大きなことが起きていて5Gが始まったりという、非常に予見不可能な中に我々突っ込んでいかねばならないことであろうと感じています。むしろ“車の両輪”ではなく、日工販殿と我々日工会は同じ船に乗ってこれを踏破していくという意味で、一丸となって市場を開いて世界に対するプレゼンスを上げていきたいと思うのです。従来にも増してご支援・ご指導をいただきたくよろしくお願いたします。

日工販殿の今後の一層のご活躍と、ここにいらっしゃる皆様のご健勝を心より祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。どうもおめでとうございました。



懇親パーティ中締め 池浦副会長



懇親パーティ司会進行 中島専務理事



懇親パーティ 依田会長挨拶



新規入会した会員紹介  
右から(株)U-MACHINE、(株)ウインテック、(株)キャドマック



受付業務に応援いただいた会員企業の皆様

◇ 乾杯 ◇

日本工作機械輸入協会 会長  
中川 貴夫 様



輸入協会会長 中川貴夫様

ただいまご紹介いただきました日本工作機械輸入協会会長の中川でございます。本日は日本工作機械販売協会の皆さまの懇親会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。甚だ僭越ではございますが、ご指名を賜りましたので乾杯の音頭を取らせていただきます。

日工販殿は、本日無事に総会を終了されたとのこと、お慶び申し上げます。私ども日本工作機械輸入協会は先月23日に総会を終え、新しい元号の下、気持ちも新たに第一歩を踏み出したところでございます。私ども輸入協会は1955年に発足いたしまして、来年2020年に創立65周年を迎えます。我が国が2回目のオリンピックを開催する年とも重なり、これを記念しまして「日本の工作機械輸入の歴史」という記念誌を発行する運びとなりました。IoT、AIという工作機械を取巻く環境が大きく変わる現在、またEVやアディティブマニュファクチャリングがすぐそこに大きな存在となる近未来、さらにはそれに国際政治、国際金融、貿易戦争といった複雑な要素が絡み合ってくる時代にこそ、私たちは日本人がどのようにしてものづくりにかかわり、この国を世界第一等の国に押し上げてきたのか、その過程で幾多の戦争や、時の政府の意向・方針の中でいかに海外製の工作機械が貢献してきたのか、先輩たちの汗と油のプロの歴史を振り返ってみるのは、将来を洞察する上で極めて有効な手段だと確信している次第でございます。

昨年2018年、我が国は通関実績ベースで約1,100億円の工作機械を輸入いたしました。国別の順位では1位中国、2位ドイツ、3位台湾、4位タイ、5位スイスの順番となっております。内容につきましてはここでは詳細触れませんが、記念誌の記載中、特に1857年ですがオランダ製のヤパン号…後の威臨丸ですが、これによって我が国に初めて工作機械が輸入されました。この当時とは世の中の情勢や状況に隔世の感がありますが、今なお輸入工作機械は広く産業界において不動の地位を保ち、独特の光を放ち続け、我が国のものづくりに大いに貢献しているものと信じております。

当協会ではこの記念誌発行を一つの区切りとして、新たな気持ちで我が国のものづくりへの一助となるべく日々努力を重ねていく所存ですので、皆さまのますますのご支援とご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

それでは日本工作機械販売協会の皆様、並びに本日で列席の皆様のご健康とますますのご発展を祈念いたしまして乾杯いたします。ご唱和よろしくお願いたします。

乾杯!



乾杯 輸入協会会長 中川貴夫様

## 令和元年度 日工販新役員 (役職名は7月1日現在)

協会役職	会社名	役職名	氏名
会長	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	依田 智樹
副会長	丸紅テクノシステム(株)	取締役社長	永田 俊哉
副会長	(株)不二	取締役会長	池浦 捷行
副会長	赤澤機械(株)	取締役社長	赤澤 正道
専務理事			中島 和彦
理事	伊藤忠マシンテクノス(株)	常務取締役工機部門長	林 芳行
理事	(株)兼松 KKG	取締役 FS 本部長	岡元 裕二
理事	住友商事マシネックス(株)	顧問	那須 雄次
理事	双日マシナリー(株)	取締役社長	佐古 達信
理事	(株)トミタ	取締役社長	富田 薫
理事	(株)豊通マシナリー	執行役員東日本営業部門長	川本 康元
理事	(株)NaiTO	取締役社長	坂井 俊司
理事	(株)ナチ常盤	取締役社長	小寺 巖
理事	三井物産マシンテック(株)	理事	藤井 富雄
理事	ユアサ商事(株)	執行役員機械エンジニアリング本部長	佐古 晴彦
理事	(株)井高	取締役社長	高田 研至
理事	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正幸
理事	サンコー商事(株)	取締役社長	小島 徹
理事	三立興産(株)	取締役社長	加藤 斉
理事	(株)東陽	取締役社長	羽賀 象二郎
理事	山下機械(株)	取締役会長	山下 隆蔵
理事	伊吹産業(株)	取締役社長	横幕 武夫
理事	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平
理事	京華産業(株)	常務取締役	菅井 利雄
理事	(株)ジーネット	常務取締役営業本部長	寺田 慎一郎
理事	宮脇機械プラント(株)	取締役社長	岡本 淳
理事	(株)山善	執行役員機械事業部事業部長	鉛 克彦
理事	(株)テツカ	取締役社長	三橋 誠
監事	釜屋(株)	取締役社長	山本 佳孝
監事	(株)立花エレテック	執行役員産業メカトロニクス本部長	永安 悟
顧問			宇佐美 浩

## 委員会委員長

委員会	会社名	役職名	氏名
政策委員会	三菱商事テクノス(株)	取締役社長	依田 智樹
総務委員会	(株)東陽	取締役社長	羽賀 象二郎
教育委員会	(株)不二	取締役会長	池浦 捷行
調査広報委員会	丸紅テクノシステム(株)	取締役社長	永田 俊哉
国際委員会	三栄商事(株)	取締役社長	後藤 正幸
東部地区委員会	三井物産マシンテック(株)	理事	藤井 富雄
中部地区委員会	(株)井高	取締役社長	高田 研至
西部地区委員会	植田機械(株)	取締役社長	植田 修平



依田会長 永田副会長 池浦副会長 赤澤副会長 中島専務理事



林理事 岡元理事 那須理事 佐古理事 富田理事 川本理事 坂井理事



小寺理事 藤井理事 佐古理事 高田理事 後藤理事 小島理事 加藤理事



羽賀理事 山下理事 横幕理事 植田理事 菅井理事 寺田理事 岡本理事



鉛理事 三橋監事 山本監事 永安監事 宇佐美顧問

## ..... 工作機械と私 .....



三菱電機クレジット(株)  
東京支店第二営業部第一営業課  
鳥井 翔太

三菱電機クレジット株式会社東京支店第二営業部の鳥井と申します。宜しくお願ひ致します。現在入社6年目の若輩者ですが「工作機械と私」へ寄稿する機会が当社へと回り、今回筆を執らせて頂きます。

大学までは全寮制の大学で硬式野球に打ち込み、投手としてプロ野球選手を目指していました。しかし大学3年次に肩を壊し全治1年以上と医者と言われ、志し半ば諦める事となりました。4年次に就職を真剣に考えた時、現代政策学部という学部で人のこころ(心理学)を専攻していた為、営業職を志望しました。学生時代野球に打ち込む事以外何もしてこなかった私は業界を特定せず、とにかく数多くの企業セミナーに足を運びました。その中で当社の事業と可能性を知り、多くの「人と関わり、モノを動かす」仕事ができる、またメーカー系ファイナンス会社として三菱電機グループと連携したメーカー系ファイナンス会社ならではのより価値のある新しい提案が出来る、まさに理想通りの仕事だと直感しました。

入社後、私は現在の第二営業部(工作機械及び建設機械等を扱う機械部)に配属となり、そこで初めて工作機械というものに触れる事となります。多くのモノを取り扱える中で工作機械がメインとなりますが、最初は本当に無知で毎日工場に足を運び機械の名前や設備の役割を勉強していました。

製造業のお客様は社長と直接交渉する機会が多く、リースの話以外にも様々な話をします。特に印象に残っているのは二年目の私に三時間以上お話し下さった社長様の事です。会社のルーツや得意先との関係性、納品管理や工程まで本当に全てお話頂きました。その時逆に社長へ何かできる事はないのかと自問自答し、当社を活用したリースのメリット(メンテナンスリース、損金処理及びオフバランスによる決算書の整理等)を必死に説明した記憶が今も鮮明に残っています。そこから何度か足を運び、クレーム(今思えば本当に為になりました)を言われながらも販売店様の協力もあり結果的に自動盤を当社独自のメンテナンスリースでご成約頂きました。その自動盤は主に量産されるボールペンの先端部分の加工に使われており、私たちが普段手にする身近なモノへ携わっています。今でもそのお客様とご縁が続いているのはあの時逃げ出さずに対応出来たからだと思ひます。他にも多くの製造業のお客様と関わり工場見学をさせていただくと、完成品や仕掛品の中に意外と身近な場面で知らずに触れているモノが多く、深掘りするとそこで携わっていたんだと興味を掻き立てられます。そういったモノに触れ多くの「人と関わり、モノを動かす」仕事ができるファイナンスという違った形でものづくりを支えていく事が今後の使命だと思ひます。メーカー系ファイナンス会社として他社と差別化を図り、お客様、販売店様と協力し厳しい競争にも打ち勝てるような営業能力と金融スキルを身に付けていきたいと思ひます。

## 分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.163

## OKKのIoT「NetMonitor4.0」のご紹介



OKK(株)  
制御技術部  
マネージャ  
高原 孝志

### 1.はじめに

OKKのIoTの取り組みで目指している「手軽さ」「導入しやすさ」をコンセプトに開発したNetMonitor4.0シリーズ製品をご紹介します。

### 2.工作機械の稼働監視 「OKK NetMonitor」

日本のものづくりの現場では、生産性向上・品質向上・コスト削減のための様々な工夫や活動を、IoTの機運が高まるはるか前より行われてきました。その中で工作機械の稼働監視を目的としたOKK NetMonitorを1999年4月より提供開始し、「手軽に導入」できる稼働監視ツールとしてご活用いただいております。稼働監視の他に、加工実績(ワークカウント)機能も備え、CSV形式データで出力し、Excel等で活用することができます。加工プログラムも一括管理が行え、プログラムの入出力や削除・コピー、NCプログラムの一括バックアップなども簡単な操作で遠隔で行うことができます。

OKK NetMonitorはNetMonitor4.0シリーズ製品のコアとなるアプリケーションで、これ1つで「つながり」「見える化」「データ活用」をサポートします(図1)。

### 3.情報の共有 「統合表示機能」

NetMonitorは1つのネットワーク(工場)内の機械が対象です。「統合表示機能」は複数の工場のNetMonitorと連携するアプリケーションで、工場が分散している場合でも、統合した稼働状態の表示ができます。工場毎に機械の状態を巡回して表示する機能や伝言板機能などを備え、リアルタイムに変化する生産状態の「共有化」にご活用いただけます(図2)。



【図1】 NetMonitor



【図2】 NetMonitor 統合表示機能

4. 保守点検のデジタル化 「保守点検機能」

機械の状態を良好に保つ為には、日頃からの点検が不可欠です。早期発見でトラブルを未然に防ぎ、生産効率を向上させる事ができます。「保守点検機能」は安価で身近になったタブレットを用いて日常点検のデジタル化を提案した製品です。点検リストに従って日常点検をサポート。タブレットに搭載されているカメラも活用でき、点検個所の画像記録も可能となっています。点検状況はデジタルデータとして記録されるので、保全計画に活かせる事が期待できます(図3)。

5. 加工状態の見える化 「ロードロガー」

加工状況の詳細な状態記録をサポートし、トレーサビリティや、加工状況分析、エネルギー・コスト等の管理に活用いただけます。ロードロガーは、LANケーブルで機械とパソコンを接続し、主軸や各送り軸のロード、送り速度の他、実行中のプログラム名、シーケンス番号、ブロック番号などの細かな情報を簡単に記録

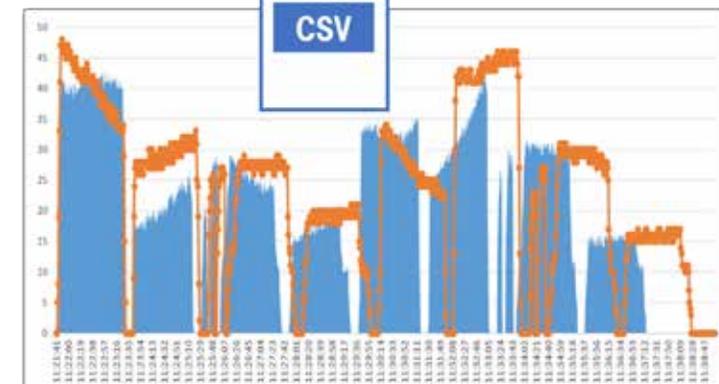
できるアプリケーションです。記録はサイクルスタートをトリガーに自動的に行われるので、取り扱いはとても簡単です。CSVファイルとして記録されるので、加工条件変更のBefore Afterの結果が、Excel等を用いて容易に視覚化できます(図4)。

6. まとめ

今後とも、「手軽さ」「導入しやすさ」をコンセプトに、お客様のご要望にお応えした機能拡充を図り、ものづくりの効率化に貢献してまいります。



【図3】 保守点検機能



【図4】 ロードロガー



## 金属(鉄)について

(株)松浦機械製作所 営業本部 名古屋営業所 奥田 貴久

今回、金属(鉄)について執筆させていただきます。

『鉄は国家なり』というビスマルクの言葉があるように、鉄は大昔から権力や国力の象徴とされてきました。日本の鉄鋼メーカーも近年合併を繰り返し大きくなっています。ポスコなど海外のメーカーも非常に力を伸ばし、日本の国力は海外に押され気味です。また、メーカー不正も横行しチェック体制など会社の検査体制の問題が表面化しており生産管理などの管理システムもよりグローバルな視点が求められています。ここで大昔に遡ると鉄の起源は宇宙誕生まで遡ります。宇宙誕生ビッグバンで誕生した星や隕石が地球に飛来し隕鉄となり発見されたのが始まりで製鉄となると年代は不明です。たぶん、石を使っていた石器時代からより硬度、切れ味の鋭い(殺傷能力が高い)モノが必要で鉄が生まれたのだと思います。鉄は鑄造、鍛造などいろいろな加工方法があり用途も様々です。鉄の生産量がそのまま国家の力と言っても過言ではありません。

鉄はいろいろなモノに形を変え、ほとんどの産業に関わっており、その鉄の種類も様々です。アルミは軽く加工がしやすく最近では自動車や航空機の部品に多く見られます。ご家庭でもアルミホイールやアルミサッシにも使われており身近な金属のひとつです。チタンは熱に強く硬度も高くサビにくいことに加えて、アレルギー反応も低いので医療部品や航空機の部品などに使われます。今ではカーボンや合金も開発され、軽くて丈夫な材料が増えています。材料が変われば加工方法、道具も変わっていきその変化も凄まじいモノを感じます。

このように多様な金属を加工できる国が今後ますます繁栄していきます。ただし、材料のほとんどは途上国が多く保有しており、また数多くの問題も抱えています。トヨタが率先して実施している紛争鉱物調査がそうですが、オバマ大統領の時代に始まったもので、先進国が途上国から買っている材料が戦争などの資金源になっていないかという調査です。改めて『鉄は国家なり』というビスマルクの言葉が思い出されます。

さて、金属には金属疲労と呼ばれる耐久値があり、金属によっては長い年月を費やして負荷をかけてその耐久度を実験していますが、耐久値はまちまちです。最近では、燃費への影響を考慮して、自動車、航空機に多く見られるように、軽くて頑丈な金属に切り替わっています。

自動車もEV化が加速していますが、排気ガスによる環境問題が取り上げられている中国では、国家的に電気自動車への切り替えが推奨されています。その中国における「中国製造2025」という政策では、労働力労働密集型製造体制から技術密集型/知能的集合型製造体制へのシフトを推進しており、実際、日本、アメリカ、ドイツのような製造強国になるべく、IoT、人工知能、ロボットなどの技術も日本と比べ進んでいる現状にあります。

日本の製造業は統計で今後600万人以上不足すると見込まれており、中国のような進歩が今後必要になると思います。

次号は、株式会社兼松KKG 中部支店の麻田直也様にお問い合わせ致します。

年齢は若いですが非常にコミュニケーション能力が高くお客様からの評判も高い方です。

## メカ式プレスがサーボプレスに生まれ変わります

アイダエンジニアリング(株) 営業・サービス本部 販促業務課 課長 中澤 学

プレス機械は、非常に耐久性の高い設備機械です。納入後30年以上経過した弊社の機械が現役として活躍している現場も珍しくありません。高剛性プレスとして定評のあるAIDAブランドとして誇らしい一方で、当時は最新式であった機能が時代遅れになってしまっているのは残念です。

そこで近年弊社が力を入れているのは、既存プレスのオーバーホールを含めて、精度や性能の回復・改善、新たな機能の追加、最新装置への置換等を行う「レトロフィット工事」です。

ここではその一例として「メカ式プレスのサーボプレス化」をご紹介します。

2000年に入って、弊社が他社に先駆けて開発した「ダイレクト駆動式サーボプレス」は、これまでメカ式が主流であった従来型プレス機の常識を大きく覆すものでした。サーボプレスは駆動源がサーボモータであるため、スライドの速度やモーション設定が自由にできます。これにより、生産性や加工精度、難加工材の成形性や金型寿命を飛躍的に向上させることが可能になります。また、サーボモータの回生電力を回収&再利用することにより、省エネ効果も得られます。

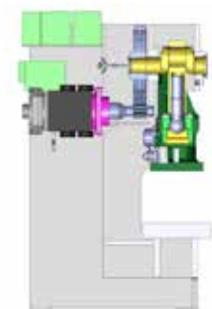
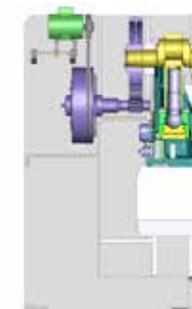
AIDAは、プレス専用のサーボモータを自ら製造している技術力を生かし、既存のメカ式プレスをサーボプレスに変えるというレトロフィット工事を行っています。

メカ式プレスのクラッチ&ブレーキとフライホイールを、サーボモータとコンデンサユニットに入れ替えることで、機能向上はもちろん、モータを含めて旧式制御盤、操作盤が一扫され、殆どの制御機器が最新になるメリットもあります。最新式のサーボプレスを使いたいけれど、まだまだ使える古い遊休設備もあるし・・・というお客様にお勧めしています。

【Before】



【After】



## 第280回 定例理事会

日時：5月8日(水) 13:00～15:00

場所：名古屋安保ホール 101号会議室

出席者：会長、副会長3名、専務理事、理事20名、顧問1名、監事2名、事務局1名

### 【付議事項】

#### (1) 総会議案の件

##### ①平成30年度事業報告案・決算案

三橋監事立会の下、4月24日に増田公認会計士による監査が行われ、決算結果が適正かつ問題のないことが確認された旨を専務理事より報告。

一般会計及び教育事業特別会計の決算報告は、総会付議第1号議案として承認された。

##### ②令和元年度予算案

一般会計及び教育事業特別会計の予算案を中島顧問より説明し、総会付議第2号議案として承認された。

##### ③役員改選による会長・副会長候補

今次改選に伴い、会長に三菱商事テクノス(株)の依田社長が、また副会長に丸紅テクノシステム(株)の永田社長がそれぞれ新任、残る副会長2名については留任の旨にて、総会付議第3号議案として承認された。

#### (2) 正会員入会申請について

入会申請のあった(株)ウインテック(代表者：山田俊二氏)について協議が行われ、理事会において承認。正会員81社目(東部地区)。

### 【報告事項】

#### (1) 流通動態調査平成31年3月結果

日工販の受注が伸び悩んでいる中で日工会の受注は上がっている状況にある。売上の前年対比では「広義の工作機械」比率、「(狭義の)工作機械」比率のいずれも大きく下がっている状況が見取れる。今後の市況として「全体見通し」では直近が▲5%～▲10%の弱含み低調傾向、向後半年、向後1年のいずれも▲10%以上の下降減少という状況である。

市場別、製品別、地域別(国内)も、▲10%以上の下降減少という状況である。

海外では、北米で前回+10%以上の上昇増加も見られたが、今回は逆に▲10%以上の下降減少となっている状況。アジアはこれまで「アジア」一括りだったが、今回から中国、インド、その他アジアに分けて状況を見たところ、中華人民共和国で▲10%以上の下降減少が見られた。

ユーザー規模別では、中小企業で▲10%以上の下降減少、大企業では前回+10%以上の上昇増加も

## 感動したスポーツの名場面

倉田 龍一郎



時代は平成から令和へと移り変わり、ものづくりにおいて更なる技術の進歩と発展が望めます。しかし、そうした希望が見据えられるのも、諸先輩方の過去の功績があってこそ。スポーツ史においても同じ事が言え、今一度その歴史と功績を振り返る必要があるかと思えます。

そこで、僭越ながら「私の感動したスポーツの名場面」を語らせて頂きます。

私の記憶の中のスポーツ史に、今なお輝き続けるシーンがあります。

それは、2009年に行われた『WBC第二回大会』vs 韓国の決勝戦にて起こりました。

9回裏、3-2と日本がリードしておりWBC二連覇への期待が最高潮に達している中、韓国の猛攻に押され3-3の同点に追い付かれてしまいます。逆転こそされていないものの、試合は10回へともつれ込み、いよいよ一瞬の隙が雌雄を決するという張りつめた緊張感。そんな中、バッターボックスに悠然と立つ男が「イチロー」その人でありました。

鋭い選球眼と抜群のミートで「これだ!」という一球をあの緊張感の中でじっと待つ強さ。その辛抱の先で放たれたのは、芸術的とも言える華麗なセンター前ヒット。ランナーを二人帰し5-3と勝ち越しました。

これが決定打となり、10回裏まで点差を縮められることなく日本の勝利。見事二連覇。土壇場での韓国の追い上げ、イチローの今大会での成績不調、最終打席にて7球も粘った事。これらすべてが起因し、観客や選手の興奮を押し上げ、今もなお伝説として語られる事となりました。

ものづくりをはじめ、こうしたスポーツなどを通じて人と人が繋がり、力を合わせ、共に栄光へと向かうその瞬間に立ち会えた事を大変光栄に思います。

(株)旭商工社 営業推進部 営業技術グループ



見られたが、今回はそれが消滅し▲10%以上の下降減少が出現している。  
総じて、どこもかなり厳しい見方をされているという状況のようである。

## (2) 委員会報告

### ① 教育委員会

池浦委員長より報告。

3月13日に委員会開催。議題は、平成30年度教育事業報告として、収支概要報告、基礎講座・SE講座・更新研修実施報告、アンケート集計結果報告がそれぞれ行われ、続いて平成31年度教育事業方針について協議が行われた。SE教育日程については、「基礎講座」が5月と6月にそれぞれ今回は実習なしの2日間の実施となった。「SE講座」は、10月1・2・3日(大阪)、8・9・10日(東京)、15・16・17日(名古屋)とし、受講対象者は入社3年程度の比較的若い層であることを考慮し、スケジュールを火曜日～木曜日に変更。「更新研修」は11月1日(東京)、8日(名古屋)としており、講師都合を背景に研修日程を1日のみとして実施することとなった。

### ② 調査広報委員会

依田委員長から報告。

3月15日に委員会開催。議題は、平成30年度活動報告と平成31年度事業計画。前年度のトピックとしてはリクルート用DVDと日工販HPをリニューアルしたこと。平成31年度の事業として日工販ニュースの増刊が検討されたが、特段の行事がない中で増刊しても掲載内容が乏しくなるとの理由から、これまで通り年間5回(5月、7月、11月、1月、2月)の発行で決定。寄稿依頼題材についても協議され、特に新年度は昨今の健康ブームにあやかり「私の健康法」を新規題材として追加されることが決定。また機関誌の刷新をはかるべく、2019年度の表紙に写真を採用することを決定。平成31年度発刊分については委員会委員が提供。翌年度分からは発刊期に応じた写真を会員に公募することとなった。

### ③ 中部地区会員懇談会

高田委員長より報告。

3月12日に開催。参加者は、懇談会：20社26名。懇親会：17社23名。

景況としては2018年(前年)並み、増収増益という報告が大半を占めた。しかし10月以降、受注の落ち込みが顕著となり、会員によっては2019年に入ってさらに落ち込んだり、逆に回復したという報告もあった。2019年は総じて不安や厳しさを隠せないことに加え、海外に関しては中国や台湾などの大幅な落ち込みが報告された。

人材問題として新卒対応、社員の定着率が芳しくない反面で、中途採用の社員の定着率はいたって良い状況。今回参加20社のうち、10社に女性の営業職配属があるとの報告。うち1社では新年度採用者の半数にあたる7名の女性を営業職に配属したとのこと。働き方改革についてはアイデアを駆使したものからアナログ的な方法を取っているところまで、各社各様、様々な取組みをされていることが浮き彫りになった。非常に有意義な話を聞けたものと感じている。

### ③ 西部地区会員情報交換会

植田委員長より報告。

3月13日に開催。参加者は、情報交換会：35社53名。懇親会：38社63名。

昨年の秋口からの潮目の変わり具合というのが非常にたくさんの会員の方から出ており、売上に関してはほぼ多くの会員が何とか目標達成したが、受注に関しては下期に関してはかなりの陰りが心配であると声が上がった。先期の状況を見ると、大きく言えば西高東低の傾向という話をされた会員がたくさんいた。工作機械メーカー・正会員もほぼ同じような内容だったが、工具メーカーの報告では目下においては好調であるとのこと。

## (3) その他

専務理事より報告。

「日台工作機械・部品関連企業交流商談会」の紹介。

台湾機械工業同業公会「TAMI」が主催し、以下の2か所で開催。

■10月2日(東京：機械振興会館 13:00～19:00)

■10月4日(大阪：マイドームおおさか 13:30～19:00)

日本の販売会社と台湾工作機械部品メーカーが対面形式で面談。特徴ある台湾メーカー(17社程度)が来日し、技術協力、OEM協力、製造委託、販売協力を通じて、具体的な連携を目指すというもの。来てもらいたい工作機械メーカーがあれば、別途専務理事に連絡を入れていただきたい。

## 第281回 定例理事会

日 時：7月3日(水) 14:30～16:30

場 所：専売ビル 8階会議室

出席者：会長、副会長3名、専務理事、理事20名、監事1名、顧問、事務局

会長挨拶の後、議題に入った。

### [報告事項]

#### (1) 流通動態調査令和元年5月結果

専務理事より報告。

受注額はほぼ日工会の受注に沿った形、一方売上の方は3月で前年比かなり落ち込んでいるが、これは昨年の3月度が非常に好調だったため、4・5月は前年比よりは上回る傾向にはあるが全体的傾向としては、中国などの影響もあり下がっている。

**(2) 委員会報告****① 総務委員会：**

羽賀総務委員長より報告

6月4日に総会・記念講演会・懇親パーティを開催。沢山のご参加に感謝。

講演会は好評であった。

**② 中部地区正副懇談会：**

高田中部地区委員長から報告

6月11日に開催。本年度の事業の説明。勉強会ということでいくつか提案をもらったので、皆様のご協力を得ながら進めていきたい。勉強会の内容については電池の作り方とかこれからの5Gとか新しい分野の取組について勉強したいという意見が多くあった。年末の忘年懇談会についても提案があったので内容のあるものにしていきたい。

**③ 西部地区正副懇談会：**

植田西部地区委員長から報告

6月26日に開催。参加は13社17名。本年度行事と最近の状況確認、および新規賛助会員の(株)西田機械工作所の高林取締役社長補佐から台湾企業との商談会の説明。

情報交換会の方は昨年度においては前半の勢いがあり、後半失速はあったもののそこそこの結果に終わっている。非常にいい年であった。本年度に入っては非常に停滞感。計画に対するずれがはじまっている。4・5・6月と進むほどに不安感が出てきている。

スケジュールについても話をして大枠は決定。12月の忘年懇親会の講演も良い提案を頂いた。

**④ 東部地区委員会：**

藤井東部地区委員長から報告

6/24日に開催。本年度行事予定について打合せ。8/1に地区委員会(日工大工業技術博物館の基礎講座会場視察を兼ねる)、8/29情報交換会(第1回目)。10/7製品研修会(EMOショーの後に実施)。招聘メーカーにはこれから要請。11/22懇親ゴルフ会(川越CC)。12/6忘年懇親会(KKRホテル)。講演会の講師は今後選定。2/13～14で工場見学会予定(静岡地区方面)。3/5情報交換会(第2回目)。

**⑤ 教育委員会：**

池浦教育委員長から報告

事務局の方で基礎講座は既に5/23～24 6/27～28の日程で開催済み。受講生は共にMAXの60名ずつ。今回実習は日工大の都合でできていない。受講者は是非SE資格の取得に挑戦してほしい。他詳細については日工販ニュースに掲載の「基礎講座実施報告」の記事\*をご一読いただきたい。なお、基礎講座の受講者の構成は総勢120名の内、正・賛助会員の参加率が97.5%(正会員が96名・メーカー7名・リース14名)会員外は3名のみであった。

\* 38頁「基礎講座」実施報告

**(3) その他**

会長より：

理事会の運営の仕方について、新しい時代の日工販として新しい施策をやっていきたくて考えており、政策委員会で議論し、その後理事会で議論を深めて決定していくが、理事会は連絡・報告だけでなく、自由闊達に議論をする場にして行きたいと考えている。

日工販の課題としては、会員数の増強と新規企画の立案である。いずれも東中西地区委員会を通じて政策委員会で具体的に議論し、理事会にて提案し議論していきたい。

教育については、講師の高齢化や内容の陳腐化が懸念されており、アップデートの可否を含め、皆様のご協力をお願いしたい。

専務理事より

「日台工作機械・部品関連企業交流商談会」の紹介。

台湾機械工業同業公会「TAMI」が主催し、以下の2か所で開催。

■ 10月2日(東京：機械振興会館 13:00～19:00)

■ 10月4日(大阪：マイドームおおさか 13:30～19:00)

---

## 中部地区 正副会員懇談会

---

日 時：6月11日(火) 13:00～15:00

会 場：(株)井高 本社 5階会議室

参加者：19社、19名

**懇談概要報告****1. 開会挨拶と日工販総会報告**

高田委員長より、6/4開催の第50回通常総会について報告がありました。議事は承認され会長・副会長、そして専務理事の交代があり、「渋滞学」の記念講演が行われました。

**2. 令和元年度中部地区行事計画と進め方についての提案及び意見交換**

8月 技術勉強会

9月 講演会

※希望テーマ：働き方効率化、AI、IoT、5G、EV関連技術など

10月8日 製品勉強会(メクト出展新製品など)

11月 工場見学会

※アマノ(株)、ナブテスコ(株)、(株)和井田製作所、他 多数の候補が挙げられました

11月 懇親ゴルフ会

※11/2の予定で進めてみたい

- 12月5日 講演会、忘年会（講師、メーカー代表の推薦）  
 ※乾杯は今期就任のメーカー新社長を打診
- 2月 技術勉強会
- 3月 懇談会～情報交換会

### 3. 意見・情報交換

3月にも業況報告がなされた事から、今回は4月に施行された「働き方改革」に関して各社の取り組み状況や悩みなど、実際の方法や問題点があらためて交換されました。

これまでも施行前での現況などが交わされてきましたが、今回は施行後といった事から、改革に伴う営業業務の効率化、人出不足や代休業務の補完、社員の定着率など、対応に欠かせない根幹の問題点が各社から報告されました。

それぞれに事情も異なり、比較的進められている会員や手つかずに近い状況の会員も居られる事から、相互に参考になったものと思われまます。

ご発言の最後で山下機械(株)の近藤社長からは、この一年でお客様の業況・生産量などの変化が出ており、受注時でのユーザーの要求内容が今になって多分に変化している事もあり、これの対応や処理に困惑している状況などの報告がありました。又、働き方改革の順守に付いては非常に難しい実情があるものの、本日の各社のお話が大いに参考になったとのお話があり、最後に高田委員長から「日工販としては新体制の中でしっかりと取り組んでいきたい。各位のより一層のご協力をお願いしたい。」と述べられ今回の懇談会を締めくくられました。



## 東部地区 委員会

日 時：6月24日(月) 16:00～17:00

場 所：日工販事務局会議室

出席者：委員長、副委員長2名、委員3名、事務局3名

委員長挨拶の後、令和元年度行事について協議し以下日程で実施していくこととした。

### (1) 地区委員会

2019年8月1日(木) 14:00～ 日工大工業技術博物館

※併せて工場見学会、忘年講演会講師等詳細の打合せを予定

### (2) 情報交換会①

2019年8月29日(木) 15:00～ 専売ホール(専売ビル8階)

### (3) 製品研修会

2019年10月7日(月) 9:00～ 専売ホール(専売ビル8階)

※予定メーカー(オークマ(株)、ヤマザキマザック(株)、(株)牧野フライス製作所、DMG森精機(株)、(株)ジェイテクト、中村留精密工業(株))

### (4) 懇親ゴルフ会

2019年11月22日(金) 川越カントリー倶楽部

### (5) 講演会・忘年会

2019年12月6日(金) KKRホテル東京

### (6) 工場見学会

2020年2月13日(木)～14日(金) 【静岡方面】

※候補：スター精密(株)、碌々産業(株)、東芝機械(株)、(株)静岡鐵工所

### (7) 情報交換会②

2020年3月5日(木) 15:00 専売ホール(専売ビル8階)

## 西部地区 正副会員懇談会

日時：6月26日 懇談会 16：30～ 懇親会 18：00～

場所：石田寿し

参加：17名/13社

議題：①情報交換 ②令和元年度 西部地区行事について

③日台工作機械・部品関連企業交流商談会の説明

### 《懇談会》

#### ①情報交換会内容

全体的な状態として2018年度においては非常に良い結果であったが、内訳的には前半の好調さとは裏腹に、後半、特に昨年の秋ごろからの受注の減少は米中貿易摩擦による先行きの不安感の影響が大きく設備投資の検討延期など雲行きは怪しい。

地域的には西高東低と判断されている会社が意外に多く、特にこれまで良かったせいか中部地区の停滞感を感じる意見が多かった。

意見の中には、良い事ではないが企業継承の問題や景気の先行き不安による廃業・キャンセル機などの問題があり、中古機市場の仕入れとしては良いという意見もあった。

新期に入り、良い動きとしてはUSERの5軸機の導入は以前より動きが出ており、自動化・省人化を含めたものづくり改革意欲には確かなものを感じられ、この部分に関する動きは2019年度においても動くものとみられる。

2019年度の市況において、農機・航空機・特殊歯車などの業界と根強い部分では、不況感の中でも自動車は何かしらの部分で動いており頼みの綱である。半導体においては、意見の中で、“いよいよ在庫が枯渇し始めてきており既に上向きに動き始めている”といった会社や、“秋口にはそれなりの動きが出てくるのではないかと踏んでいる会社もあり、さらには5G関連の動きが同時期に本格化するという情報もあって、今後に期待しているところである。

#### ②令和元年度西部地区行事について

配付資料に基づいて説明。

本年後の予定において講演会(9・10月)・忘年会・時局講演のアイデア、また講演会として予定している行事枠の1つを実地研修に替えるという案についても話し合った。いくつかの案も出たので今後決めていく予定である。

#### ③日台工作機械・部品関連企業交流商談会の説明

㈱西田機械工作所の高林様からの依頼で上記交流会への日工販企業の参加依頼があり、その内容主旨を説明。この内容は、後日日工販本部からも案内が回り、現在参加者募集状況である。

### 《懇親会》

18：00より赤澤副会長の乾杯のご発声で始まり情報交換などが引き続き行われ、非常に良いムードで懇親を深め、最後に宮脇機械プラント(株)岡本社長の中締めにて終了いたしました。

大切なお知らせ

## 「日工販SE」認定証が変わります！

### ? 何が変わるの？

#### (1) 運用が変わります！

これまでは証明書用写真をわざわざ撮り、所定の大きさに切り取って郵送していただいていたのですが、デジカメで撮影した写真を電子メールで送信する運用に変更します。

- ① 上半身あるいは胸上の写真をデジカメ等で撮影し、
  - ② 電子メールで [kyouiku@nikkohan.or.jp](mailto:kyouiku@nikkohan.or.jp) 宛てに送信
- ※送信メール本文に「対象者氏名、認定 No.、講座受講時の受講ID」を明記。

#### (2) 認定証のデザインが変わります！



### ? いつから変わるの？

2019年8月1日(木)以降に送信された写真から新運用を始めます。

### ? 新「認定証」配付の対象は？

- ✓ 運用開始日以降に「SE講座、更新研修」で認定を受けた方
- ✓ 「永世SE」資格の申請をし事務手続きが完了した方
- ✓ 以前、認定を受けたにもかかわらず、写真未送付のまま認定証の発行を受けていない方



既に認定証発行済の方について、今回新運用での認定証の発行(差替え)は行いませんので予めご了承下さい。

## 会社生活に於ける初めての ○○

### 初納品と感謝する気持ち



カトー機械(株)  
課長

三輪 彰 仁

私がカトー機械(株)に入社して15年目になりました。

元々、営業経験はありましたが、工作機械業界に携わった年数は同じく15年になります。皆様もご存知の通り、ひとえに工作機械と言ってもマシニングセンタ、旋盤、放電加工機、研削盤など、種類、メーカーともに多数あり、周辺機器も合わせると、これまでの自分の知識、経験はほんの一部だと、まだまだ勉強不足を感じながら日々営業活動をさせていただいております

今回この原稿の話をいただいてから、今までの会社生活で一番印象に残っている初○○を考えた際に、最初に頭に浮かんだ初納品についてお話させていただきます。

私の初納品は#5のマシニングセンタでした。私が初納品したお客様の工場周りの状況は交通量が多かったため、早朝から運送業者の方々と作業をしました。お客様にとって必要な大きさの機械ではあったものの、搬入口の間口を事前に拵げていただいたり、少しイレギュラーな搬入となりましたが、無事に設置作業を終えることができ、ホッとしたことを覚えています。

それまでも先輩に同行して機械の納品の立会いをしたことはありましたが、その時から感じておりましたが、1台の機械に携わる人の多さがとても印象に残っています。

受注につながる為に商社、メーカーの営業マンが動くことはもちろん、機械が完成してお客様へ納入、設置するまでには、製造現場の方、出荷検査する方、運送業者の方など、だれ一人欠いても成り立ちません。関係する方々、一人一人がベストな方法を考えて行動し、その上で協力して進めなければ絶対に上手くいくことはありません。それぞれの動きを把握し効率を考慮して計画、調整することが、間に立つ商社の大事な役目であると考えています。

納品をスムーズに進めることも、お客様に満足していただき、次の商談の引き合いにつなげていく重要な仕事です。

それと同時に、自分一人で完成できる仕事ではないため、周りで一緒に協力して仕事をする方々を尊重し、感謝する気持ちを忘れてはならないと思います。

冒頭にも書きましたが、工作機械業界はとても奥が深く、どこまでいっても学ぶ事や経験する事がどんどん出てくる興味深い業界です。15年経って、これまでの会社生活を振り返り、現状の自分に満足せず、業界の動きにアンテナを張ることを怠らないよう、お客様に喜ばれる情報を提案できる営業活動を目指して頑張っていきたいと思います。

そして周囲の人に感謝する気持ちを忘れず精進していきたいと思っています。

## 私の好きなお店

中島和彦

どこの店にするか迷いましたが、サラリーマンのメッカ新橋の行きつけをご紹介します。

新橋の居酒屋はチェーン店のコスパ重視だが何を食べさせられているかわからず、さして旨くない店や、新橋だから安いかと思うと高いものを薦められうっかり頼んで勘定書きにびっくりという店もあり、良く知らない痛い目にもありますが、これからご紹介する店は今までそのようなことがなく安心して利用できています。

新橋駅の南西方向に5分ぐらい歩きますが、お店の名は「酒々屋 和海(なごみ)」です。

ここの売りは何と言っても、限定5台の「刺身の特盛」です。限定5台(実際にはもっとあると思っております)なのですが、18時前に入店できればゲットできるチャンスは大だと思います。何と言ってもその量と質に驚きます。これで990円とは全く信じられない価格で、お刺身好きの方は是非早めに行かれて一度トライしていただくことをお勧めします。

メニューも定番メニュー以外に仕入によって変わる日替わりの手書きのものがあり旬のものがいただけます。定番メニューも質も量も満足できるものでコスパは高いと思います。

店員さんも気が利く人が多く、この間は遅れてくる人がいるが、特盛がなくなると困るなあつばやいたところ、では予約しておきお揃いになったらお出ししましょうと粋なはからいをしてくれました。

なにしろ人気店なので予約は必至、いつも19時を過ぎると満員です。

姉妹店として、と言うかこちらが第一号店のようなのですが、同じ新橋に「酒の魚 和海」もあります。こちらの店には行ったことはありませんが、メニューはほぼ同じのようです。

(日工販 専務理事)



動態調査1

Table 1: Statistical data for 2017/5 to 2019/1. Columns include months and categories like '工作機械' (Machine Tools), 'CAD/CAM・自動加工' (CAD/CAM/Processing), and '売上' (Sales). Values are in million yen.

Table 2: Statistical data for 2017/5 to 2019/1. Columns include months and categories like '工作機械' (Machine Tools), 'CAD/CAM・自動加工' (CAD/CAM/Processing), and '売上' (Sales). Values are in million yen.

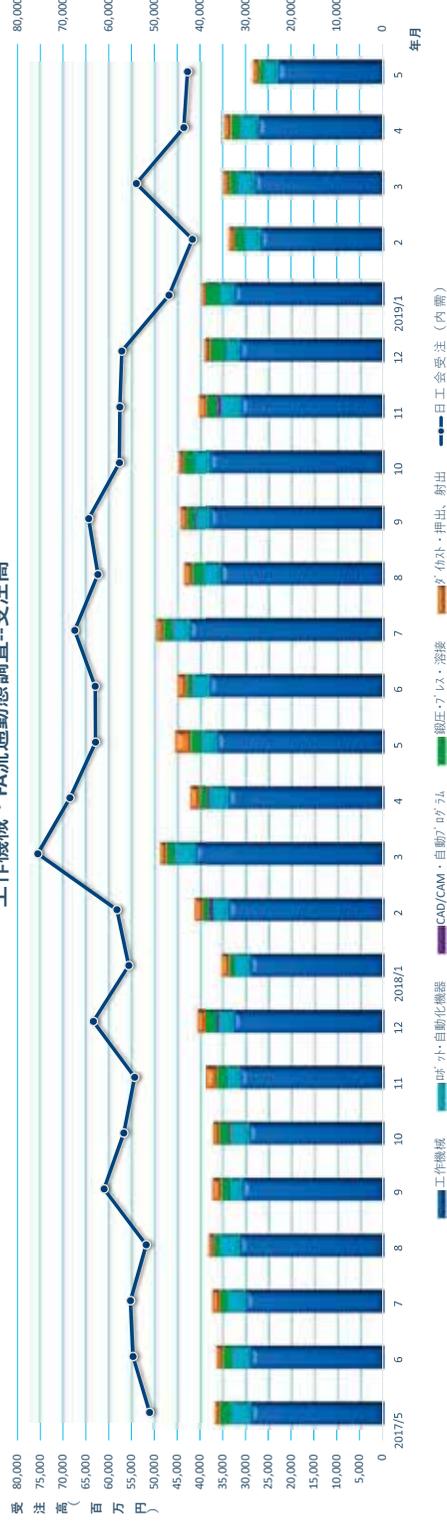
Table 3: Statistical data for 2017/5 to 2019/1. Columns include months and categories like '工作機械' (Machine Tools), 'CAD/CAM・自動加工' (CAD/CAM/Processing), and '売上' (Sales). Values are in million yen.

Table 4: Statistical data for 2017/5 to 2019/1. Columns include months and categories like '工作機械' (Machine Tools), 'CAD/CAM・自動加工' (CAD/CAM/Processing), and '売上' (Sales). Values are in million yen.

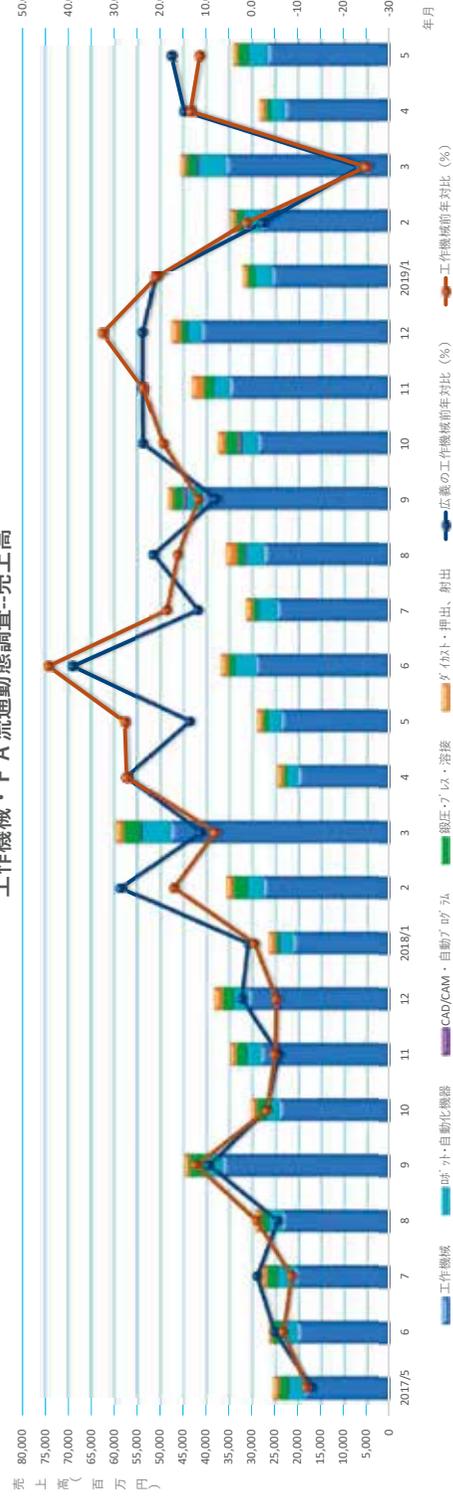
本調査は統計1に関しては会員38社、統計2に関しては29社の回答を得て集計したものである。参考までに今月のアンケート回答数は4社である。

【 要 注 】
< 年 度 >
平成29年度 平成29年度
430,617 122.4% 376,855
522,236 118.6% 504,488 109.8% 464,803

工作機械・FA流通動態調査-受注高



工作機械・FA流通動態調査-売上高





## 令和元年度SE教育「基礎講座」実施報告

第27期「基礎講座」は営業経験3年未満の方々を対象にして日本工業大学で開催されました。昨年度に引き続き、参加予定アンケート実施時に定員オーバーの状況となりました。

日工大会場・講師の都合から今年度は実習を組み込めない状況となりましたが、工作機械の基礎知識習得の観点から、講義と見学で60名/1回・2日間を2回開催することとなりました。



受講いただきました各社様への御礼を申し上げます。なお、受講のご要望に沿うことができなかった会社様には深くお詫びを申し上げます。

受講生におかれましてはここで得られた成果を今後の営業に活かされますようお願いいたします。

開催日：第1回 5月23日(木)～24日(金) 受講生60名

第2回 6月27日(木)～28日(金) 受講生60名

会場：日本工業大学学友会館・工業技術博物館・機械実工学教育センター

### 《カリキュラム》

第1日：午前 講義受講

「工作機械とは」(清家尚講師)：工作機械の概念や業界の現状を受講

午後 見学

工業技術博物館：動態展示工作機械類等の見学。

機械実工学教育センター：現在のNC旋盤、マシニングセンタ、放電加工機、5軸複合加工機等を見学。更に立形マシニングセンタによる加工実演を見学。

第2日：午前 講義受講

「工作機械の要素、切削理論、加工技術」(津田真祐講師)

「工作機械業界の過去、現在、近未来」(宇佐美浩講師)

午後 講義受講

「生産材売担当に期待すること」(上野健治講師)

「プレス加工とプレス機械の基礎」(中野隆志講師)

日本工業大学のご協力の下、2日間の日程でしたが工作機械の基礎を理解されたことと思います。受講生各位には会社に戻られて今後それぞれの分野で活躍されますとともに、近い将来「日工販SE」資格の取得に挑戦されることを切に希望いたします。

当講座の開催にあたり、多大なご協力をいただいた日本工業大学工業技術博物館館長の清水教授を始め、ご指導していただきました講師の皆様様に紙面をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 日工販SE合格者 第223回 発表

2019年5・6月の合格者は32名です。

### 2019年5月 合格者16名

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
18-27-3445	ワシノ商事(株)	井上 達貴	19-28-3461	(株)兼松 KGK	細矢 和輝
18-28-3446	(株)カネコ・コーポレーション	片庭 駿太	19-28-3462	(株)テヅカ	三堀 洋一
18-28-3447	三井物産マシンテック(株)	北村 昌俊	19-28-3463	三菱商事テクノス(株)	玉野井 圭
18-28-3448	(株)国 興	小泉 駿介	19-28-3464	三菱商事テクノス(株)	福井 友輝
18-28-3449	(株)旭商工社	竹内 龍一	19-28-3465	(株)旭商工社	山田 修平
18-28-3450	三栄商事(株)	家崎 利和	19-28-3466	佐藤商事(株)	大出 健一
18-28-3451	(株)日本精機商会	浅井 利浩	19-28-3467	三栄商事(株)	碓氷 厚樹
18-28-3452	植田機械(株)	松岡 竜也	19-28-3468	(株)山 善	中川 辰次
18-28-3453	(株)ユーエイ	東坊 哲郎	19-28-3469	オークマ(株)	岡崎 辰哉
18-28-3454	(株)ジーネット	井戸 佑哉	19-28-3470	三菱電機(株)	有水 賢太郎
18-28-3455	メルダシステムエンジニアリング(株)	沢崎 元気	19-28-3471	三菱電機(株)	岡 耕平
18-28-3456	三菱 UFJ リース(株)	岡島 一輝	19-28-3472	三菱 UFJ リース(株)	安田 航平
18-28-3457	三菱 UFJ リース(株)	小林 誉弥	19-28-3473	(株)大 東	山下 正博
18-28-3458	三菱 UFJ リース(株)	星野 誠	19-28-3474	(株)大 東	河原崎 祥一郎
18-28-3459	(株)ウエノ	宮崎 彰大	19-28-3475	(株)大 東	石川 達也
18-28-3460	(株)ウエノ	薬師堂 仁	19-27-3476	近畿総合リース(株)	門間 寿昌



## ～私の健康法～

# ボディメイクとわたし

(株)国興 営業推進本部 企画仕入部 牛山 咲季



社会人になって4年目を迎えました。仕事内容は事務仕事で、朝からパソコンと向き合う日々を送っています。こんな私ですが、現在ボディメイクに力を入れ、週6日でトレーニングをしているので、そのことについて書きたいと思います。

社会人2年目に、トレーニングジムに通いました。特に健康を気にしていたわけではありませんが、仕事が終わってまっすぐ家に帰る日々でしたので、何か趣味になるものを見つけようと思いました。地元の小さいトレーニングジムでほとんどが健康増進を目的とした方で、筋トレをしている人はほとんどいませんでした。私もちょっと痩せればいかなぐらいで、走ったりちょっと筋トレマシーンを使ったりとあまり一生懸命ではありませんでした。

明確な目標を持ったのは昨年2018年の8月でした。通っているジムの当時のトレーナーさんがフィットネスの大会に出場されるということで応援に行きました。フィットネスの大会とは、昔ではボディビルのように筋肉隆々の男の人の大会というイメージですが、最近はフィジークという筋肉だけではない体の美しさを基準にした競技や、女性としてのメリハリある美しさを競う大会などもあります。応援に行った時にはそんなことは知らず、ただステージ上の輝きを放つ選手に呆気に取られ、遠い世界の人だと思っていました。しかし、終演後たまたま同じ系列のジムに通われている女性が選手として出ていてお話をさせていただき、この人の様になりたいと強く思いました。ここからボディメイクの毎日をスタートさせました。

そこから冬の間はひたすら筋トレの日々でした。大会は体脂肪率15～18%くらいで臨むので、大会3ヶ月くらい前から減量を始めます。メリハリのある体にするにはただ痩せていけばいいわけではありません。筋肉のある健康美が良しとされます。冬の間はとにかく食べて、筋肉を大きくすることに努めました。とにかく場数を踏んで大会慣れしようと思い、2019年は4月、6月、9月と3大会に出場することとしました。最初の大会は4月、減量は2月からスタート。減量しながら筋肉をつけることが難しく苦労した部分もありました

が、自分なりに万全の状態当日を迎えました。ステージ上では緊張はしましたが、最後まで笑顔で乗り切ることができました。結果はファイナリストまではいきましたが、納得できる結果ではありませんでした。しかし、新しいことに挑戦できたことは大きな自信になりました。

初めての大会が終わって少し食べる期間を作り、現在は6月の長野大会に向けて減量・トレーニング中です。自分の身体にどんな食べ物が合うのか、どんなトレーニングが効果があるのか試行錯誤の日々です。まだまだ始めたばかり。大会を終えるごとに成長した私でいられるよう頑張っていきたいです。



## お知らせ

### 日工販ニュース表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

当該ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、今年度から表紙にその季節折々の写真を掲載することといたしました。今年度分は日工販調査広報委員会のメンバーにより原稿を掲載していきますが、来年度以降の表紙写真は“公募”形式により会員の皆様から広く募りたいと考えていますので、奮ってご応募ください。

#### 【募集要領】

##### 対象写真

年5回の発刊月(5月、7月、11月、1月、2月)に合わせた写真(1枚以上)

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわりません。

季節を感じさせるものであれば何でも可。

##### 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

なお、いずれも「件名」には「《日工販ニュース》表紙写真(応募)」と記載願います。また、「撮影された方の所属・役職・氏名」と「適用発刊月(何月号用に掲載してもらいたいか)」、「撮影した場所や対象(風景の場合)、あるいは写真のタイトル」を必ず添えて下さい。

日工販事務局宛てメールに添付：[jmta@nikkohan.or.jp](mailto:jmta@nikkohan.or.jp)

大容量ファイル配信ツール(「FireStorage」など)等の利用で送付

USBやCD等による送付(媒体返却を希望する場合は「返却要」と記載してください)

##### 公募開始

令和元年8月1日(木)以降、随時受け付けます。

##### 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販ニュース」を送付させていただきます。採用の連絡は発送を以て代えさせていただきますが、後々の掲載に備えて、ご送付いただいた写真は事務局でストックしていきますので、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしません。

# 海外だより

牧野机床(中国)有限公司 (Makino China Co., Ltd.) 押切 智大

この度は、日工販ニュースに寄稿のお話を頂き、ありがとうございます。達筆ではございませんが、皆様に赴任先の様子をレポートさせていただきます。

私は、現在中国の南にある広東省の東莞市に駐在し、早3年半が経とうとしております。広東料理でお馴染みの広東です。大きな都市としては、広州や深圳(シンセン)が有名です。気候は亜熱帯気候に分布されていますが、冬は意外に寒く、2016年1月には100年に一度と言われた雪が降りました。

人口に関しても広東省だけで1億人を超えており、一省というより一国という感覚です。言葉も、広東語圏(私は全く聞き取れませんが...)で、中国の他の地域に比べ、温暖で海岸線も長く、マカオ・香港という異文化もある地域でございます。

地域紹介が少し長くなってしまいましたが、この3年半で感じることでしましては、中国の皆さんが日本の情報をよく知っているということです。インターネットの情報もさることながら、私の帰国よりも頻りに日本に旅行に出かけている人もおります。時に私が見たことのない料理店の写真を見せて、今度はここに行きたいがどうやって行くのか?料理の評判はどうだ?何がおいしい?など、矢継ぎ早にまくし立てられます。料理だけでなく、衣服や最新のスニーカー、化粧品など、以前のタイ駐在から含めるともう7年以上日本には住んでおらず、日本人なのに最新の情報を知らない自分に気づかせてくれます。

米中貿易摩擦(中国では、中米貿易戦と言います)の影響が、中国経済、または実際の経営者マインドに大きく左右している事実にも注視していかなければなりません。日中間においては、上記のとおり、互いの現地・現物をみるという交流が加速されており、ますます良好な関係が継続し、経済の土台となってくれることを現地駐在員としては願っております。



末筆ですが、日本の皆様におかれましても、中国には本当に多くの観光名所があり、是非観光されることをお勧め致します。有名な、秦の始皇帝の兵馬俑や万里の長城だけでなく、歴史で有名な赤壁の戦いの場所や諸葛亮公明に行った三顧の礼の場所も実際にあります。桂林という中国紙幣の20元札の裏の描画の実際の景観など多くの観光地がございますので、是非見聞を広げるためにも如何でしょうか。

今後も能動的に関係を構築し、かつ異文化理解を継続していきたいと考えております。ありがとうございました。



## 行事予定

政策委員会・定例理事会	9月 4日(水)	大阪産業創造館
SE教育)SE講座	10月 1日(火)~ 3日(木)	JEC日本研修センター江坂
SE教育)SE講座	10月 8日(火)~10日(木)	専売ホール
SE教育)SE講座	10月15日(火)~17日(木)	マザックアートプラザ
SE教育)更新研修	11月 1日(金)	専売ホール
政策委員会・定例理事会	11月 7日(木)	安保ホール
SE教育)更新研修	11月 8日(金)	マザックアートプラザ
西部忘年講演会・懇親会	12月 4日(水)	新大阪江坂東急REIホテル
中部忘年講演会・懇親会	12月 5日(木)	メルパルク名古屋
東部忘年講演会・懇親会	12月 6日(金)	KKRホテル東京
定例理事会・賀詞交歓会	1月 9日(木)	第一ホテル東京

## 会員消息

### 入会

《賛助会員》

(株)西田機械工作所 (2019年6月1日～)

代表者：代表取締役社長 西田 賢治

〒593-8307 大阪府堺市西区平岡町49-2

TEL：072-271-5461 FAX：072-271-5465

## 編集後記

- 5月下旬に気象庁が出した予報では、7月と8月の予想は、沖縄・奄美を除いて、全国的に「ほぼ平年並み」の予想。平年より低い確率は、40%となっています。本号が皆様のお手元に届くころには、梅雨明け宣言となり本格的な夏の暑さを迎えている場所もあることと思います。  
気温が高めだと納涼を求めてビアガーデンに行く方も多いと思います。最近はビアガーデンが女性にも人気で活気が戻ってきているというニュースもあります。気温が高めで降水量も多いとエアコンの需要も増えると思います。また、夏の季節ものの売上也期待ができるのでしょう。景気の面ではありがたいことだと思います。  
ところで、7月を代表する日本の伝統的な花のひとつに「朝顔(アサガオ)」があります。アサガオはつるを伸ばして成長するので古くから日よけに利用されてきました。皆様のお宅でもアサガオ、ヘチマやゴーヤといった植物を栽培し夏の日よけ対策にされている方もあろうかと思えます。今年の夏の電力が供給不足とならぬよう個人でも会社でも工夫して「節電」に努め、「良い夏」を過ごしたいと思えます。(中村)
- 私は昨年、14年間の海外駐在(米国→ブラジル→米国)を終え帰国しました。俗説ですが、帰国後のリハビリ(日本に慣れる期間)に、駐在年数分の月数(5年駐在なら5ヵ月)掛かるという説があり、私はリハビリに14ヵ月掛かる計算で今年の10月が満期(?)です。  
その「リハビリ」で一番辛いのが通勤(東京)でした。  
帰国当初は見るもの聞くもの全て新鮮で、キョロキョロしながら通っていましたが、そのうち新鮮味が薄れ、徐々に苦痛になってきました。そこで、周りの御同輩はどうしているのかと見回すと、皆さん一律に無表情で通勤されている。  
そうか「無心か!」と気づき、出来るだけ「何も考えない」あるいは「ある考えに集中する」という対策に辿り着きました。恐らく皆様は無意識にそうされていると解します。  
かつてバブル華やかし頃、YMOというテクノポップグループ(坂本龍一所属)の「増殖」というアルバムの表紙に、人造人間らしき者が列をなして並ぶ、というのがあり、汐留地下の通勤風景をみて、それが頭に浮かんできました。私も今ではすっかりその景色に同化しています。(松田)

日工販ニュース July 2019

2019年7月15日発行

発行 日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

編集 日工販調査広報委員会  
委員長 永田俊哉(丸紅テクノシステム株)  
委員 君村義人(伊藤忠マシンテクノス株)  
中村龍二(株トミタ)  
松田悟士(株ナチ常盤)  
稲垣誠人(三菱商事テクノス株)  
森田一志(株牧野フライス製作所)  
福島透(三井住友ファイナンス&リース株)